



さかい いくろう 酒井 郁郎

あそう かずひで 浅生 和英

さとう たかのぶ 佐藤 太信

やざわ はるか 矢沢 青河

のざわ しげまさ 野澤 茂雅

みやうち そうこ 宮内 奏子

中学校襲撃事件が発生

戸田の会が
独自調査!
事件の詳細は?
今後の対策は?

戸田市美笹中でこの3月、不審者が校内に侵入、
ナイフで教員に重傷を負わせる事件が発生しました。

▼事件の概要 ~「戸田の会」独自調査~

学期末試験中、見慣れない若者が後ろの扉から教室へ侵入。教諭は当初、遅刻者と勘違いしたものの若者がナイフを手をしていることに気付き、襲撃犯と判断。とっさに抱き着くと同時に、前の扉から逃げるよう生徒達へ指示した。

この間、犯人はナイフで腹部と腕を次々に刺傷。ナイフによる刺創は心臓と肺近くの大動脈手前数ミリまで達しており、仮に大量出血となれば命が失われる可能性の高い、極めて重大なものであった。なお、現在も左手麻痺の後遺症が残っている。

廊下に逃げた生徒達は、立ち止まらず自身の判断で避難。近くの教室では、異常を察知した教員が内鍵をかけて生徒の安全を確保した。さらに、直後に数名の教員が駆けつけ、犯人は戦意喪失、座り込んだところを取り押さえた。

▼事件の影響 ~社会・各方面に大きな動き~

国 防犯カメラやオートロック等を進める方針。

市内小中学校 衝撃と懸念は大きく直ちに小中学校長会から防犯対策の緊急要望が出されました。

- ・熟練警備員2名以上の配置
- ・入退管理
- ・学校周囲へのフェンスや電子扉の設置
- ・職員へ「緊急通報ボタン」「催涙スプレー」支給など

市教育委 事件のあった美笹中をモデル校として入退管理を行う、警備員を配置するなどを決定。小中学校長会から要請のあった大半の項目は未定。

市議会 今回の事件を受け、文教委で22年前に事件のあった大阪府の池田小を視察。写真は、小学1・2年生8人が犠牲となった地点。「事件当日までは8人の思い出がつくられた教室のあった場所。無かったことにはしたくない」と校長先生は語る。



▲池田小視察(5月)

▼戸田の会として、下記を提言します。

1. 乗り越えづらいフェンスの設置

生垣・低い塀や門はNG、全校2m以上の見通しの良いフェンス



2. 携帯型防犯グッズを職員へ支給

催涙スプレーに加え、伸縮式警棒等、ナイフに対応しうる護身具など



3. 教員・児童生徒の訓練強化、意識向上

講演会やシンポジウムを教育委が主催し実施



4. 怪我を負った教員へのサポート

訴訟支援や傷害・障害のケア、叙勲授与など



襲撃犯が侵入した際、教員は逃げるようマニュアルに定められています。それでも、多くの先生方は責任感が強く、児童生徒のことを考え犯人に立ち向かってしまうでしょう。

結果として、今回の事件のように教員が大けがを負う、あるいは命が失われることが繰り返されかねません。

戸田の会はさらに研究し、子供たち・先生方の安全を確実なものにしてまいります。



酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学医学部大学院、マツキンゼー(コンサル)、保育・医学教育事業、国会議員政策秘書資格

鉄道自殺の対策を急げ

2022年、戸田市で多くの人身事故が起きました。特に北戸田駅の死者数は全国1位。大多数が10-20代。若者の自殺連鎖は戸田市の最優先課題です。

ホームドアによりほぼ完全に防止できますが、設置の見通しは無し。蕨駅のようにJRや国への猛烈な働きかけにより設置された例もあり、さらにプッシュが求められます。また、設置までの間、駅頭での啓発活動、ホーム上への見守り要員の配置、啓発看板や緊急停止ボタンの設置等、強力な対策が必要と考えます。

放課後学習を増やすには

子どもの学力向上には「勉強時間をいかに伸ばすか」が大きな要素。今回、貧困家庭への通塾支援のほか、図書館や公共施設にリラックスして勉強や教え合いができる場所を作ること、そこへ来る感心な子供たちに飲み物やおやつをサービスして呼び込むことなどを提案しました。教育委の答弁は(予想通り)後ろ向きでしたが、子供たちが「放課後はあそこに集合ね」と待ち合わせ場所にしたいとなるような勉強場所を将来ぜひ実現したいと思っています。



市長公約について

浅生 1期目は「9つの挑戦」を掲げて、待機児童ゼロの達成や見守り防犯カメラの設置、公民連携の仕組みづくりをはじめ、各分野において着実な前進を果たしてきた。同時にコロナ禍という前例のない事態に直面しながらも、果敢に立ち向かい、生活困窮者支援、市内経済活性化、教育環境の充実などに積極的な投資を行うとともにコロナ対策で市民の安全・安心を守ってきた。2期目も市長公約は市民との約束であり、4年間で着実に達成してほしいと期待している。

菅原市長 第2期は3大プロジェクトとして「子ども応援」、「100年健康」、「防災」の3つを特に力を入れていく。他にも、ポストコロナ社会への対応やDX、SDGs推進をはじめ、地域コミュニティなど地域活性化、市内企業と市内経済を支える事業などにも取り組む。行政だけでなく、多くの方々を巻き込み、対話を重ねながら意見を取り入れて作り上げていく。第2期開始当初からスピード感を持ち、81全ての公約事業の4年間の工程表をとりまとめた。



あそうかずひで
浅生和英
幹事長・無所属・2期
【経歴】大宮高校、法政大学、山一証券、美容室VASE
【所属】社会福祉士精神保健福祉士、防災士、市民生活委員長、議会改革



佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、大正大学院、東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【資格】臨床心理士

主権者教育、障がい者等の投票環境の改善を!

佐藤 ①主権者教育の取組は。②投票所における手すりの設置等によるバリアフリー状況の把握を。③投票所において知的障がい者等への臨機応変な対応を。④戸田かけはし高等特別支援学校との連携による投票支援の実施を。

行政委員会 ①南陵高校で実施。②設置状況を調査し、市ホームページにてバリアフリー状況を公開する。③事前研修時に投票事務従事者にしっかりと周知する。④関係者にアドバイスを伺い、連携する。

手話言語条例の検証を!

佐藤 ①条例施行後の取り組み状況は。②イベント開催前に手話通訳の案内を。③条例制定後の効果検証の実施を。

健康福祉部 ①小学校での出前講座の他、広報戸田市で毎月イラストを紹介、YouTube公式動画ではよくある会話場面での手話を定期的に配信している。②各課に伝え、随時対応する。③協議会を通じて当事者の声を把握する。



▲2020年6月条例成立



やざわはるか 矢沢青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】茗溪学園、
鹿児島大学、FM放
送局、県議秘書7年
(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第
七分団)、防災士

成年後見、慎重な運用を!

矢沢 後見制度は元々「家族が無償で後見人をする」想定で制度設計されました。しかし、手続きや法律が難しく、主な相談先も弁護士等の士業が担っているため、法定後見人の8割は士業、家族は僅か2割。業務も財産管理等が中心で、ニーズの高い生活ケア等の身上監護は少数です。

弁護士等	社会福祉士・社協等	市民後見人等
長所 財産・相続 短所 身上監護 (面会:年数回等)	長所 身上監護 (面会:月数回等) 短所 財産・相続	長所 無・低報酬 短所 数が少なく 専門性が低い

銀行等から「認知症となった家族の、預貯金等の管理・解約のために必要」と言われ

後見を始める方が最も多いのですが、「途中で辞められない」、「後見人の解任が困難」、「毎月2~8万円の費用負担」など制度に欠点も多く、安易に一生続く後見を選択してはなりません。市民・行政・関係機関の理解と慎重な運用を求めました。

▼成年後見制度を巡る近年の変化

選任	【現状】弁護士ら専門職中心で解任は限定的 →相応しい親族がいれば選任が望ましい 柔軟に後見を交代、中核機関が推薦
報酬	【現状】財産額に応じた一律額 →業務量・難易度に応じた額へ見直しを促す
業務	【現状】財産管理が中心 →生活ケア「身上監護(保護)」を重視
後見人支援	【現状】一部地域・団体が実施 →市区町村単位の中核機関を中心に実施

避難所運営

野澤 避難所運営の課題は、運営体制の確立と支持命令系統の徹底であるが、避難所運営体制の方針は。



危機管理局 避難者が役割を分担し、多くの人が避難所運営に参画できるよう『避難所運営委員会』を組織する。各自主防災会中心での運営が望ましい。

野澤 委員会体制への要望 ①市職員、学校職員は補完的役割と考え、自主防災会主導で。②運営リーダーに優先順位を。

③常に避難所を状況把握するため、自主防災会による避難所確認訓練の実施を。

部活動の地域移行を!

野澤 中学校部活動地域移行の経過は。
教育委員会 スポーツ庁地域運動部活動推進事業に参加し、新曽中学校を拠点校として部活動地域移行の実証研究中であり、今後もさらなる研究を進める。

野澤 生徒・教員に「持続可能な部活動」として、参加機会の多様性と公平性を。

<その他の質問>

野澤 本市シルバー人材センターの公共業務の受注を他自治体並の3割程度に。



のざわけまさ 野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中学校PTA会長、町会副会長



みやうちそうこ 宮内奏子

無所属・1期
【経歴】慶應義塾大学英米文学科卒、社内翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後独立
【資格】英検1級、TOEIC970点

政治分野における男女共同参画の推進を!

宮内 2018年に「政治分野における男女共同参画推進法」が成立し、地方議会においても男女の候補者の数ができる限り均等になるように法律に定められたが、それを受けた戸田市の取り組みは?

担当部 情報誌を窓口で配布、あいパル男女共同参画コーナーで周知している。

宮内 戸田市男女共同参画情報誌「つばさ」で特集を組み、政治分野の男女共同参画推進に向けてさらなる周知啓発を。

担当部 情報誌「つばさ」において、政治

分野も含めた特集記事を組むことを編集協力員と協議検討していく。

宮内 戸田市の約14万人の比率は男性が約51%、女性が約49%、男女が均等に住んでいるにも関わらず、戸田市議会の女性議員の割合は26人中5人と2割にも満たない状況である。市民の多様な意見を反映して、女性や子供たちの問題にもさらに光を当てるためには、女性の政治参加を推進すべきと考える。



▲ニュージーランド議長、抱っこで議事



▲熊本市議会、子連れで賛否の議論

障がい者雇用 戸田の会が仲介!協定締結に成功!

～「障害者雇用のプロ」のノウハウを戸田市へ～

戸田市内に約140人もの障害者を雇用する企業があるのをご存知でしょうか?その企業は(株)スタートラインといいます。

戸田市では「いぶき」のブランドで、障害者にも働きやすい環境の植物工場を運営。長年の経験と研究開発によりノウハウを蓄積し、高い職場定着率を実現。また、支援要員として多くの高齢者を雇用しています。障害者本人にとって「いぶき」は、下記のような利点があります。



- ① 仕事が確保される
- ② 同じ職場で長く働ける
- ③ 健常者に見劣りしない給料
- ④ 専門性が高いスタッフ、働きやすい職場
- ⑤ 無理解・差別的な扱いを受けない

私たち戸田の会は3年間にわたり、「いぶき」や戸田市の障害者就労施設の相互視察、戸田かけはし高等特別支援学校との合同視察や提携仲介、ヒアリングやディスカッションなどを重ね、(株)スタートラインとの関係を構築してきました。こうした試みを通して(株)スタートラインの障害者就労における高い技術に触れ、その力を戸田市において最大限に活用して頂けないかと考えるに至りました。そこで戸田の会は、戸田市との提携について(株)スタートライン側とのディスカッションを行い、「市施設内での水耕栽培による花壇の設置」「戸田かけはし高等特別支援学校内における水耕栽培技術の供与」「いぶきへの就業体験の受け入れ」などを具体的に想定。その上で戸田の会は両者を仲介し、協定締結となりました。

▼2021/4/19 屋内ハーブ農園いぶき視察



▼5/13 フラワーセンター視察



▼7/5 官民連携の意見交換



▼8/3 かけはし高等特別支援学校の合同視察



▼2023/1/25 戸田市との包括連携協定が実現!!



- ▶ いぶき内に戸田市優先ブースを設け、社会体験
- ▶ 障害理解促進セミナー
- ▶ 育てたハーブティーによる障害啓発活動 など

今回の協定で(株)スタートラインは「いぶき」の1区画を、戸田市の生徒を対象とした教育用に運用しますが、そのコストは年間1600万円です。これだけ巨額のコスト負担について聞いたところ、「地域福祉の向上が企業理念の1つです。コストのことばかり考えていては、新しいことはできません。以前からこのような取り組みをぜひ、はじめてみたいと考えていました」との驚嘆すべき言葉が返ってきました。

このように障害者雇用に強みのある企業が、たまたま戸田市に拠点をもち、さらに今回巨額のコスト負担を顧みず協定に応じてくれました。さらに取り組みを拡げてそのノウハウを生かし切ることで、戸田市の障害者就労を最適化してほしいと思います。

埼玉県戸田市議会

戸田の会

電話・FAX 048(871)6391

郵送 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

ホームページ todanokai.com

メール info@todanokai.com

